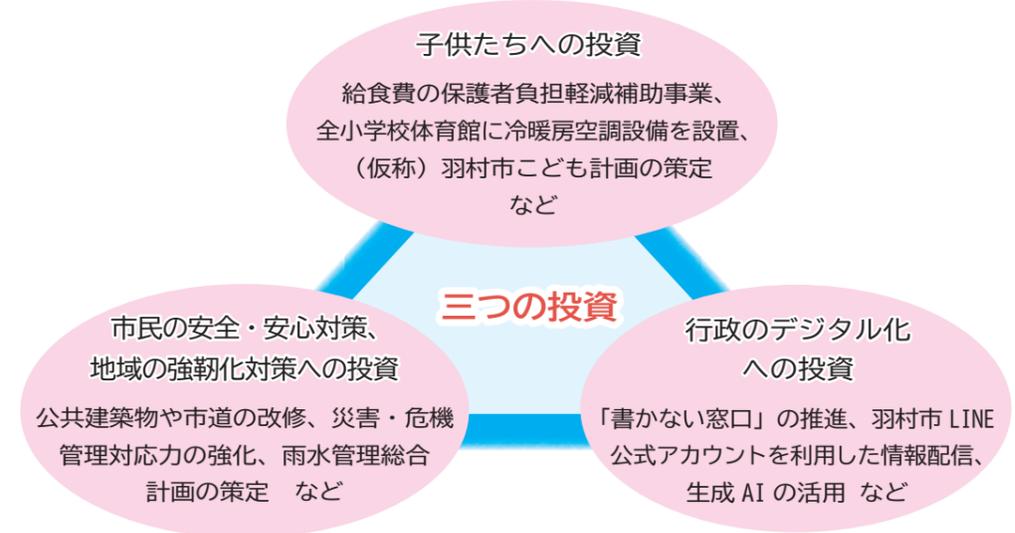


持続可能な未来につなぐ予算

市の財政は、今後も引き続き厳しい状況が続くものと想定しています。

一方、子供施策の充実、超高齢社会や老朽化が進む公共施設への対応、都市基盤整備、行政のデジタル化など、早急に対処が必要な行政課題に対し、スピード感を持って取り組む必要があります。また、能登半島地震の甚大な被害を我がこととして捉え、地域の防災・減災力の一層の強化に力を尽くすことも重要です。

このような観点から、令和6年度予算は限りある財源について創意工夫を凝らし、重点的かつ効率的に配分し、引き続き「子供たちへの投資」「市民の安全・安心対策、地域の強靱化対策への投資」「行政のデジタル化への投資」という次代につながる「三つの投資」を中心に予算化を図り、「第六次羽村市長期総合計画」の実現に向け、着実に前進する「持続可能な未来につなぐ予算」として編成しました。



◆令和6年度各会計予算 (単位：万円・%)

区分	令和6年度(当初)	令和5年度(当初)	増減額	増減率
一般会計	244億1,000	236億9,700	7億1,300	3.0
特別会計				
国民健康保険事業	58億870	59億2,630	-1億1,760	-2.0
後期高齢者医療	16億660	14億9,780	1億880	7.3
介護保険事業	43億4,380	41億4,370	2億10	4.8
羽村駅西口土地区画整理事業	19億6,200	15億5,050	4億1,150	26.5
特別会計 合計	137億2,110	131億1,830	6億280	4.6
水道事業会計	17億4,936	17億1,676	3,260	1.9
下水道事業会計	18億6,186	17億4,902	1億1,284	6.5
合計	417億4,233	402億8,108	14億6,125	3.6

※水道・下水道事業会計は、「収益的支出」と「資本的支出」を合計し、予算額としています。
※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

予算の詳細内容は、市公式サイトから見るができます

令和6年度に市が重点的に取り組む事業や予算の概要、健全な財政運営に向けた取組みなどをまとめた「令和6年度実施計画・予算(概要説明)」を公開しています。詳しくは市公式サイトをご覧ください。



歳入

歳入の根幹となる市税収入は、国の施策である定額減税の実施や原材料価格の高騰などが市内企業に与える影響等を踏まえ、前年度と比較し1.8%減の100億3804万円を見込みました。

過去最大の規模となった歳出予算に対応するため、財政調整基金※をはじめとした基金からの繰入金は前年度と比較して21.9%増の14億5007万円を計上しました。これにより、令和6年度末の

財政調整基金残高は令和5年度末の残高からほぼ半減することを見込んでおり、厳しい状況にあります。

引き続き、財政健全化への取組みを強化し、持続可能な財政運営への転換を目指します。

※財政調整基金：年度間の財源の調整を図るための貯金

歳出

歳出の51.3%を占める民生費は、前年度と比較して4.6%増の125億1253万円を計上しました。

大きく増えた要因としては、児童手当等の支給に要する経費や障害福祉サービス費といった福祉や医療の経費(扶助費)が増となったほか、後期高齢者医療会計介護保険事業会計への繰出金が増加した

ことなどによるもので、社会保障経費の拡大が続いています。

総務費は、行政のデジタル化に関する経費を予算化したことなどにより前年度と比較して4.3%増の28億8341万円を計上しました。

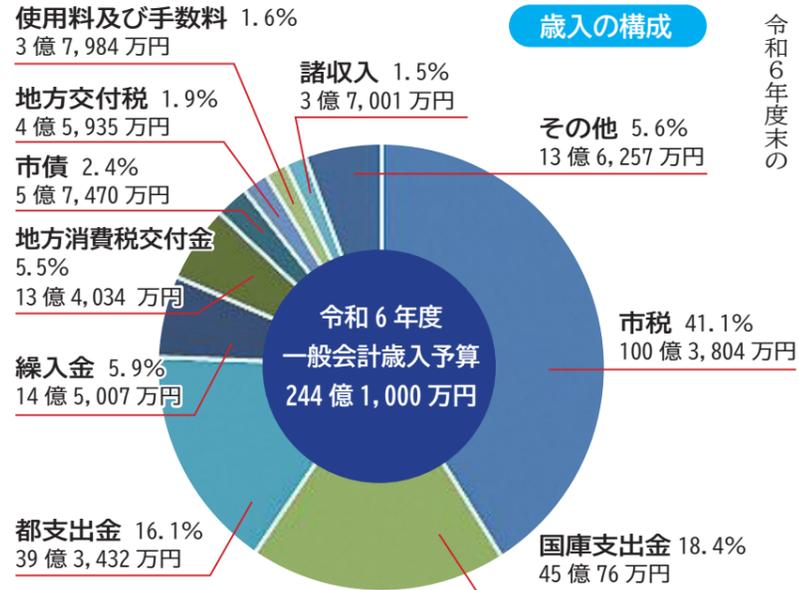
このほか、教育費では、学校給食費保護者負担軽減補助金などを計上し、土木費では、天然運動公園用地の購入費などを計上した結果、過去最大の予算規模となりました。

一般会計予算

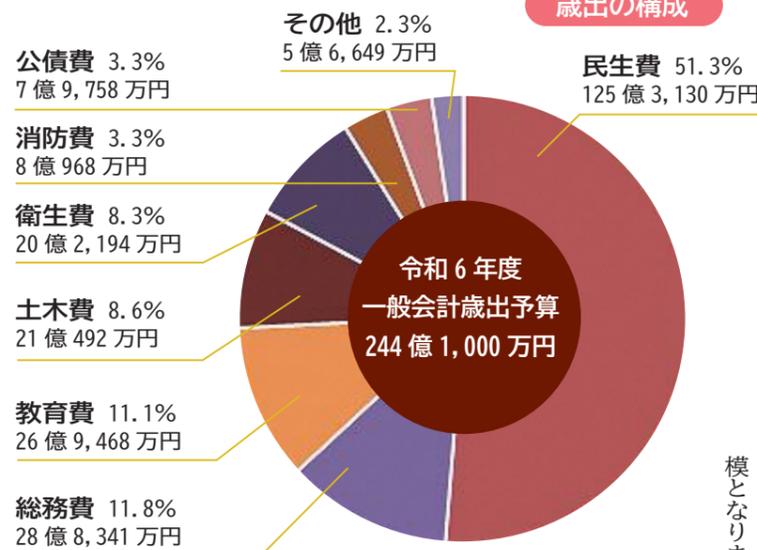
過去最大規模

令和6年度一般会計の予算は、前年度と比較して3.0%増の244億1,000万円となり、当初予算としては過去最大の規模となりました。

歳入の構成



歳出の構成



民生費	保育などの充実、高齢の方・障害のある方などへの福祉に
総務費	コミュニティの振興や行政運営に
教育費	学校教育や文化・スポーツの振興に
土木費	道路や公園、市街地の整備に
衛生費	市民の健康を守ることやごみ処理などに
消防費	火災や地震などの災害への備えに
公債費	市が借り入れた市債(借金)などの返済に